

今年度事業名	子どもエコクラブ活動補助事業	事業コード 1002
来年度事業名	子どもエコクラブ活動補助事業	

総合戦略体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
--------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	小・中学生の環境活動を促進し、環境保全に対する意識・知識の向上、将来の環境市民育成を図る。				
	概要	小中学校の各クラブによる環境保全活動に対し補助金を交付。各子どもエコクラブは、活動報告会(発表会および壁新聞掲示)を実施する。				
	コロナ対応の取組	特になし				
	法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付	
			内容	補助金交付は市、事業実施はNPOとの協働		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもエコクラブ活動報告会の開催	回	目標値					
		実績値					
子どもエコクラブの活動支援(補助件数)※H23より1団体あたりの補助額の変更(2万円→10万円)	件	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもエコクラブ活動校数	校	目標値					
		実績値					
計算根拠 子どもエコクラブ取組み学校数		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもエコクラブ活動報告会の開催	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
子どもエコクラブの活動支援(補助件数)※H23より1団体あたりの補助額の変更(2万円→10万円)	件	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	10	10	10		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもエコクラブ活動校数	校	目標値	12	12	12	12	12
		実績値	12	12	12		
計算根拠 子どもエコクラブ取組み学校数		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.05	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	520	480	520	420
決算額	520	440	460	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	601	環境まちづくり推進事業費補助金	1,120	420	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	420

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市内小中学校での環境保全活動を推進するために、子どもエコクラブ活動補助金を交付して、活動を支援する。 (コロナ予算額 520千円 → 420千円)
前年度の実績	市内12の小学校において、22クラブに補助金を交付した。また、2月に子どもエコクラブの発表会、報告会を実施した。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 事業自体は活動できるが、総決算といえる発表会に関して新型コロナウイルスの影響を受けないとは考えづらい。また、昨年よりも活動自体を縮小せざるを得ないクラブもあった。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 今年度の発表会の様子を見た上での会場の変更。R2年度の発表会が恙なく終わればそのまま、そうでなければ違う場所を選定する。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	環境活動表彰・まち美化活動表彰事業	事業コード	1003
来年度 事業名			

総合戦略 体系	445	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	環境市民の育成
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	2020
	目的	市民や市民団体の環境保全に関する取り組みを促進し、本市における環境活動の活性化を図る。				
	概要	「環境まちづくり活動」を積極的に実践している個人または団体を市民目線・市民主役により発掘し、優れた活動を顕彰するとともに、活動事例を広く市民に紹介することで、市における環境活動の活性化を図る。 さらに平成31年度より「まち美化活動表彰事業」を統合した。これはまち美化活動に積極的に取り組む地区・町内会等を表彰する事業で、もって実践団体の励みとする。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) 事業自体を取り止めた。事業廃止。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)		
			内 容	「環境活動表彰」次年度の環境フェア開催時に表彰する。「まち美化活動表彰」区長会連合会総会で表彰する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
チラシ配布	枚	目標値				0	
		実績値					
広報さばえへの掲載	回	目標値				0	
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
環境まちづくり大賞応募者数	人または団 体	目標値				0	
		実績値					
まち美化活動表彰応募者数	団体	目標値				0	
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
チラシ配布	枚	目標値	500	500	500		
		実績値	500	1000	500		
広報さばえへの掲載	回	目標値	1	1	1		
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
環境まちづくり大賞応募者数	人または団 体	目標値	10	10	10		
		実績値	15	20	17		
まち美化活動表彰応募者数	団体	目標値			10		
		実績値			13		
計算 根拠		達成率			130		
		実数値					

ランク A A A

事業 要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク
B、Cの
理由

DO
(実施)

【単位:千円】								
事業費	区分	2017	2018	2019	2020	タイプ	会計	一般会計
	予算額	216	216	327	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	216	216	327			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	16.691	0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **9 / 16**

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20**

CHECK(評価)

今年度 方向性⇒

取組内容 「エコプラザさばえ」に事業を委託していた環境活動表彰事業と同じく委託していたまち美化活動表彰事業を統合し、表彰対象者(団体)の掘り起しから、審査判定、表彰式典の段取りまで委託する。ただし、表彰状の準備等は市環境政策課が行う。
(コロナ予算額 327千円 → 0千円)

ACTION

前年度の実績 環境活動表彰応募者数 17団体、まち美化活動表彰応募者 13団体

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
新型コロナウイルス拡大に伴い、令和2年度は事業中止とした。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
特に環境活動表彰は長年実施してきた事業だが、マンネリ感が否めない。毎年賞を、決められた数お渡しするのではなく、市として感謝状を授与する必要性が生じた際、表彰することとする。まち美化活動表彰についても区長会連合会事務局からは必要な事業ではないと聞いている。

方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

今年 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

来年 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	環境活動団体補助事業	事業コード 1005
来年度 事業名	環境活動団体補助事業	

総合戦略 体系	445	安心して快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	環境市民の育成
------------	-----	----------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	環境まちづくり活動の活性化および環境市民の育成を図る。				
	概要	活動助成補助金を交付する。 また、環境フェア、環境教育支援センターなどで、環境啓蒙活動の協力を依頼する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	現在	市直営	
			内 容	環境活動を実施している非営利環境団体へ、補助率2/3で、10万円を限度として補助する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標
 コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助件数	件	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標							
活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助件数	件	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	6	2	3		
計算 根拠		達成率	120	40	60		
		実数値					

ランク A C C

事業 要員	正規職員	0.1	ランク B、Cの 理由	環境活動団体等に対し、3ヶ年までとして補助しており、年度によりバラつきが出るため
	臨時・嘱託			
	※所要時間	0		

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	600	600	600	100
決算額	600	200	300	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	601	環境まちづくり推進事業費補助金	1,120	100	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	100

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 維持
取組内容	環境活動団体に新規事業の取組みを奨励するとともに地域の環境保全や環境教育などを行う環境活動団体に10万円を限度に補助する。 (コロナ予算額 600千円 → 100千円)
前年度の実績	3団体から補助金申請あり
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	団体への補助金となるため、内規で補助期間を原則3年までとしている。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	新たに環境保全活動を実践する団体、あるいは今後活動を始める環境団体等に対し、その運営を助けたい。 3127「水・人・生きものが共感できる里づくり事業」をこちらに統合。
方向性⇒	統合

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	不法投棄防止対策事業	事業コード 1574
来年度 事業名	不法投棄防止対策事業	

総合戦略 体系	443	安心して快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	----------------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	不法投棄の根絶				
	概要	不法投棄の根絶のため、パトロールを実施するとともに、広報のほか看板を設置して、不法投棄防止の意識啓発に努める。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	現在	市直営	
			内容	市広報・不法投棄防止の看板作成委託		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
不法投棄の根絶のためのパトロール回数	回	目標値					
		実績値					
不法投棄の根絶のための啓発看板設置数	個	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
不法投棄の処理件数	件以下	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
不法投棄の根絶のためのパトロール回数	回	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	12	12	12		
不法投棄の根絶のための啓発看板設置数	個	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	7	12	20		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
不法投棄の処理件数	件以下	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	81	70	96		
計算 根拠		達成率	123.5	142.9	104.2		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業 要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	191	100	500	504
決算額	191	100	146	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	11,473	504	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	504

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	不法投棄防止に関する広報及び看板作成、監視カメラの活用地域巡回強化により、まち美化を推進し不法投棄の根絶のため、パトロールを実施する。
前年度の実績	不法投棄防止看板を40枚作成し、町内へ貸し出した。 監視カメラを3町内に貸出、不法投棄を抑制した。 不法投棄防止のパトロールを10回行った。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	今後も継続していく。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	一般環境監視調査事業	事業コード 1582
来年度 事業名	一般環境監視調査事業	

総合戦略 体系	442	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	公害の防止
------------	-----	---------------------	---------------	-------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止に努め、自然環境の保全を図る。				
	概要	毎年作成する環境監視測定計画に基づき、大気や河川水等の測定・分析を行い、環境の状況の把握に努め、鯖江の豊かな自然と人の共生できる環境の維持に努める。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠	鯖江市公害防止条例	実施 形態	現在	民間等委託(一部)	
			内容	分析業務については、民間に委託して実施する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
測定箇所数	項目	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
測定箇所数	項目	目標値	64	64	64	64	64
		実績値	64	64	64		
計算 根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.5
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	11,502	11,502	11,432	11,392
決算額	11,502	11,018	10,970	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(県)事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	26,360	11,392	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	11,392

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	(一部)公共用水域常時監視調査事業委託金	387
2		
3		
4		
5以降		
		合計 387

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい) <input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	維持
	取組内容	調査結果の検証をしつつ、継続して調査を実施する。 (コロナ予算額 11,928千円 → 11,392千円)
来年度へ向けて	前年度の実績	令和元年度の測定は64箇所であった。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	汚染物質の経年変化や測定値が安定している測定箇所の実施頻度。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		環境基準を超過する箇所もあるため継続して行う。
方向性⇒		維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業	事業コード 1587
来年度事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業	

総合戦略体系	443	安心して快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
--------	-----	------------------	---------------	----------

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭からごみステーションに排出されたごみの収集・運搬等を実施し、一般廃棄物の適正処理を行う。					
	概要	家庭用一般廃棄物【燃えるごみ、燃えないごみ、資源物(空き缶他10種)、有害物(乾電池他2種)]を収集する。					
	コロナ対応の取組	特になし					
	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等	実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	啓発:市 収集業務:委託			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ収集日数(不燃ごみ・資源物)	日	目標値					
		実績値					
ごみ収集日数(可燃ごみ)	日	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
1人1日当たりごみ排出量	g/人・日	目標値					
		実績値					
計算根拠	ごみ総排出量/鯖江市人口/当該年度の日数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ収集日数(不燃ごみ・資源物)	日	目標値	190	190	190	190	190
		実績値	190	190	198		
ごみ収集日数(可燃ごみ)	日	目標値	205	205	205	205	190
		実績値	205	205	209		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
1人1日当たりごみ排出量	g/人・日	目標値	900	900	870	900	900
		実績値	907	920	931		
計算根拠	ごみ総排出量/鯖江市人口/当該年度の日数	達成率	99.2	97.8	93.4		
		実数値	922/69263/3	307/69,434/3	608/69,299/3		

ランク A A B

事業要員	正規職員	0.1	ランクB、Cの理由 鯖江市一般廃棄物処理基本計画の目標値870gを目標に、ごみの排出量を減らす施策を行ってきたが、決定的な策とはならなかったため。
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	199,000	201,000	211,000	215,000
決算額	187,152	189,385	197,973	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	202	ごみ収集委託料	215,000	215,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	215,000

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 16 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
ごみの減量化、資源化を進めるため、ごみ処理基本計画に基づき、適正な家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))のステーション排出を指導するとともに、排出量の削減、分別の徹底啓発に努める。

来年度へ向けて 前年度の実績
1人1日当たりごみ排出量は931g

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
食べきり運動、生ごみたい肥化、買すぎない運動、使い捨て製品使用の自粛

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
広報での周知、出前講座の開催など啓発活動に重点を置く。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	資源物リサイクル推進事業	事業コード 1593
来年度 事業名	資源物リサイクル推進事業	

総合戦略 体系	443	安心して快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	----------------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	1992	終了年度	9999
	目的	適正なごみの分別を徹底するため、市の広報やホームページをはじめ、出前講座やまちづくりモニター制度による現地啓発等を行い、町内ステーションに出された資源物のリサイクル率の向上を図る。					
	概要	家庭ごみのうち、資源物として町内ステーションに排出される、古紙、トレー、プラスチック類、繊維類等の分別、排出の徹底を図り、生活系一般廃棄物における、リサイクル率の向上に努める。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等	実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	啓発:市 収集処理:委託			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
総資源化量	t	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
家庭ごみリサイクル率	%	目標値					
		実績値					
計算 根拠	ST資源物(民間回収含)+市民団体等集団回収資源物/STごみ排出量+市民団体等集団回収資源物	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
総資源化量	t	目標値	2,800	2,800	2,800	2,700	2,700
		実績値	2,100	2,100	2,916		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
家庭ごみリサイクル率	%	目標値	20	20	21	18	18
		実績値	13.8	13.9	13		
計算 根拠	ST資源物(民間回収含)+市民団体等集団回収資源物/STごみ排出量+市民団体等集団回収資源物	達成率	69	69.5	61.9		
		実数値	2100/15166	2100/15107	2000/15335		

ランク C C C

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由
鯖江市一般廃棄物処理基本計画の目標値21%を目標に、リサイクル率を上げる施策を行ってきたが、決定的な策とはならなかったため。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	17,570	18,270	19,299	19,700
決算額	16,795	18,041	19,299	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	20,375	19,700	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	19,700

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 16 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ **事務改善**
 取組内容
 燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている現状を広報で周知し市民へさらに協力依頼するとともに、区長さんへごみ分別出前講座の開催を積極的に依頼し、出前講座を多数実施することで、分別・排出の徹底を図り、ごみ有料化に向けての資源化の推進を図る。

来年度へ向けて
 前年度の実績
 家庭ごみリサイクル率13%
 前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
 燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている現状を広報で周知する。
 実績と課題を踏まえた来年度の変更点
 広報での周知、出前講座の開催など啓発活動に重点を置く。
 方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	地下水汚染対策事業	事業コード 1595
来年度事業名	地下水汚染対策事業	

総合戦略体系	442	安心して快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	公害の防止
--------	-----	------------------	---------------	-------

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	地下水揚水処理施設整備事業の効果を測定する。				
	概要	地下水汚染区域および周辺の井戸において、年2回～4回定期的にモニタリング調査を実施し、ガスクロマトグラフ質量分析計(GS-M S)により有機塩素系化合物の分析を行い、継続して汚染状況の監視に努める。				
	コロナ対応の取組	特になし				
	法令根拠	水質汚濁防止法	実施形態	現在 市直営 内 地下水に含まれる汚染物質の濃度を低減するため、水質の浄化を行うとともに、水質調査を実施し、住民への周知に努める。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
測定箇所数	箇所	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
測定箇所数	箇所	目標値	60	60	60	60	60
		実績値	60	60	60		
計算根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.5
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	5,514	4,813	5,877	5,961
決算額	4,699	4,458	4,585	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	26,360	5,961
2							
3							
4							
5以降							
						合計	5,961

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 (評価1ある・2ない)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 事務改善
取組内容	ここ数年測定箇所の見直しを行っていなかったが、汚染物質の経年変化や測定値と基準値との関係を基に、測定箇所と測定回数を見直しを実施する。
前年度の実績	令和元年度の測定は60箇所であった。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	地区の汚染状況サンプルの減少
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	汚染物質の基準値を超過する箇所もあるため継続して行う。
方向性⇒	事務改善

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	定置式可燃ごみ収集容器設置補助事業	事業コード 1597
来年度事業名	定置式可燃ごみ収集容器設置補助事業	

総合戦略体系	443	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
--------	-----	-----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	町内の固定式可燃ごみ収集容器設置への助成補助を実施し、適正なごみ集積所の設置で市内の環境美化の向上を図る。				
	概要	固定式可燃ごみ収集容器の製造または、購入に対する補助を行う。				
	コロナ対応の取組	特になし				
	法令根拠		実施形態	現在	市直営	
			内容	廃棄物容器製造または購入事業に対し、5万円を上限に補助している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
対応率	%	目標値					
		実績値					
計算根拠	補助件数/補助申請件数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
計算根拠	補助件数/補助申請件数	達成率	100	100	100		
		実数値	23/23	30/30	21/21		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
---------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,000	1,000	1,000	1,000
決算額	903	967	868	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	602	廃棄物容器設置費等補助金	1,000	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	固定式可および移動式(折りたたみ式)燃ごみの収集容器の製造、購入に対し補助率2分の1で5万円を限度に補助する。
前年度の実績	定置式可燃ごみ収集容器設置対応率100%
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	今後継続していく。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度事業名	騒音・振動・悪臭調査事業	事業コード 1599
来年度事業名	騒音・振動・悪臭調査事業	

総合戦略体系	442	安心して快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	公害の防止
--------	-----	------------------	---------------	-------

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止を図る。				
	概要	毎年作成する「環境監視測定計画」に基づき、市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の測定を行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について対象となる悪臭物質の測定・分析を行い、改善指導等を実施する。				
	コロナ対応の取組	特になし				
	法令根拠	騒音規制法、振動規制法	実施形態	現在	民間等委託(一部)	
			内容	関係機関への許可申請については市が行い、測定調査については、委託して実施する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
延べ測定地点数(騒音12+振動6+悪臭3)	箇所	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
延べ測定地点数(騒音12+振動6+悪臭3)	箇所	目標値	21	21	21	21	21
		実績値	21	21	21		
計算根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,352	2,357	2,450	3,246
決算額	2,329	2,321	2,398	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	26,360	3,246	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,246

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の行うとともに、悪臭が発生するおそれがある事業所について悪臭の調査を実施する。
前年度の実績	令和元年度の測定は21箇所であった。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	測定地点など計画的に行っている。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	環境基準を超過しないよう継続して行う。
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	生ごみリサイクル推進事業	事業コード 1600
来年度事業名	生ごみリサイクル推進事業	

総合戦略体系	443	安心して快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
--------	-----	------------------	---------------	----------

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの現状を分析するために、毎年、「家庭系燃えるごみ」の組成調査を行っているが、特に、重量比率で「生ごみ」の割合が40%以上と高い状況にある。そこで、市域の家庭生ごみ減量化、資源化の取り組みとして、「生ごみリサイクル市民ネットワーク」活動支援および「ダンボールコンポスト」の推進により、生ごみの減量化、資源化に努める。					
	概要	市内全地区に活動グループがある「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への活動補助金の交付および「ダンボールコンポスト」の講習会開催および受講者への基材提供により家庭生ごみの減量化、資源化を図る。					
	コロナ対応の取組	(今年度)生ごみリサイクル市民ネットワークへの補助金減額、ダンボールコンポスト普及啓発事業は出前講座回数減を見込んでの委託料減額。(来年度)生ごみリサイクル市民ネットワークへは、団体補助から業務委託を予定。					
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)			
			内容	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への補助金交付および「ダンボールコンポスト」普及啓発事業の民間委託			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数(新規)	世帯	目標値					10	20
		実績値						
計算根拠	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」加入世帯数+「ダンボールコンポスト」取組み世帯数(新規)	達成率						
		実数値						
家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数	世帯	目標値					3100	3200
		実績値						
計算根拠	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」加入世帯数+「ダンボールコンポスト」取組み世帯数(累計)	達成率						
		実数値						

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
		目標値						
		実績値						
計算根拠		達成率						
		実数値						
家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数	世帯	目標値	2,700	2,700	2,700			
		実績値	2,718	2,881	3,033			
計算根拠	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」加入世帯数+「ダンボールコンポスト」取組み世帯数(累計)	達成率	100.6	106.7	112.3			
		実数値						

正規職員	0.05	ランク B、Cの 理由
臨時・嘱託		
※所要時間	0	

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
事業費				
予算額	1,900	1,900	1,940	950
決算額	1,726	1,830	1,819	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	2	1	204	グリーンリサイクルタウン事業費	2,476	950
2							
3							
4							
5以降							
						合計	950

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	内容拡大
取組内容	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」のEM菌活用の必要経費に対して、1/2の補助を予算枠になっている。「ダンボールコンポスト」講習会の受講者・継続者に教材を提供することにより、生ごみの減量化、資源化を図っている。 (ダンボールコンポスト コロナ予算額 446千円 → 200千円) (生ごみリサイクル コロナ予算額 1,500千円 → 750千円)	

前年度の実績	家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数3033世帯(累計)
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	コロナウイルス感染症拡大に伴う予算カットにより「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への補助金を約半額にしたが、一市民団体に20年以上補助金を交付してきたことはどうか?との意見もある。EM菌等配布事業として委託事業とできないか検討したい。 また、ダンボールコンポスト普及啓発事業は、従来までコンポストを始める際に研修を受ければ、最初1回は無料で提供しているが、安価で購入いただくように今後変えていきたい。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	EM菌等配布事業として「生ごみリサイクル市民ネットワーク」と委託契約を結ばないかを検討、またダンボールコンポスト普及啓発事業は、無料ではなく安価で購入いただく方向へ変えたい。
方向性⇒	事務改善

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業	事業コード 1604
来年度 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業	

総合戦略 体系	443	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	---------------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの分別や減量の目的・方法について、広く市民に啓発し、家庭から発生するごみの減量化・資源化をめざす。				
	概要	ホームページや広報等を通じて広く市民に啓発する。また、見学コースについても適時見直すなど、見学会の内容を常に検討を行い、住民のごみ減量化・資源化意識の向上を図る。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) 事業変更はしていないが、廃棄物分別出前講座やごみ処理・リサイクル施設見学参加者が減少することを見込んでの委託金額変更。(来年度) 事業変更は考えていない。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	リサイクル施設に係る見学会案内事務をNPOに委託して実施する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ処理・リサイクル施設見学会開催回数	回	目標値				5	5
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ処理・リサイクル施設見学参加者数	人	目標値				50	50
		実績値					
計算 根拠	リサイクル施設・ごみ処理施設見学参加者数(夏休み親子リサイクルツアー、 区長会のごみ処理施設等視察等)	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ処理・リサイクル施設見学会開催回数	回	目標値	10	10	10		
		実績値	10	10	10		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
ごみ処理・リサイクル施設見学参加者数	人	目標値	170	170	170		
		実績値	179	169	152		
計算 根拠	リサイクル施設・ごみ処理施設見学参加者数(夏休み親子リサイクルツアー、 区長会のごみ処理施設等視察等)	達成率	105.3	99.4	89.4		
		実数値					

ランク A A B

事業 要員	正規職員	0.05	ランク B、Cの 理由	ごみ処理・リサイクル施設見学会の回数は満たしていたが、参加人数が少なかった。例年新区長になった2月・3月に実施しているが、コロナの影響で参加される区長さんが例年より少なかった。
	臨時・嘱託			
	※所要時間	0		

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	400	400	400	200
決算額	400	400	400	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	11,473	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	区長を通した区民へのごみ分別等の出前講座と、区長を中心とした自治会代表者にクリーンセンターと廃プラスチック類のリサイクル工場を見学してもらうことをあ わせた事業。 (コロナ予算額 400千円 → 200千円)

前年度の実績	ごみ処理・リサイクル施設見学会開催回数 10回 ごみ処理・リサイクル施設見学会参加者数 152人 ごみ分別・出し方についての出前講座 18回
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 出前講座は区民が町内公民館等に集まってもらうことになるし、施設見学会は市のバスを利用して区長さん方に見学してもらうのだが、どちらも密になる可能性が あり、参加者が集まるかが分からない。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 廃棄物行政においてもどちらも大事なことなので、引き続き実施したい。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	200,000
来年 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	河川環境保全活動推進事業	事業コード 1616
来年度 事業名	河川環境保全活動推進事業	

総合戦略 体系	446	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	河川等の美化、愛護思想の普及、意識の高揚活動の実践に寄与する。				
	概要	「日野川を清く美しくする会」が実施する河川等の美化、愛護活動事業に対する補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(今年度) 日野川河川清掃、環境フェアへの出展、日野川河川パトロール、会報発行(全て中止)				
	法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付	
			内容	団体の事務局を環境政策課が行っている。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
会報の発行回数	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
河川清掃の実施	回	目標値					
		実績値					
		達成率					
計算 根拠		実績値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
会報の発行回数	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
河川清掃の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
		達成率	100	100	100		
計算 根拠		実績値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.6
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,200	1,200	1,200	1,200
決算額	1,200	1,200	1,200	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(県)事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	602	河川環境保全活動推進事業費補助金	1,200	1,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	河川等美化愛護活動事業費補助金	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	自然環境保全意識の高揚を図るため、環境美化活動や自然愛護活動を継続して実施する。 (コロナ予算額 1,200千円 → 800千円)
前年度の実績	日野川河川一斉清掃の実施、環境フェアへの出展、河川パトロール、水生昆虫観察会、会報の発行、草刈り機の点検保守。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	R2年度は新型コロナウイルス感染症を考慮し、河川一斉清掃を取り止めた。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	河川一斉清掃は例年通り実施の必要あり。日野川砂礫河原再生事業を統合する。
方向性⇒	<input type="text" value="統合"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	生活排水路等環境美化事業	事業コード 1807
来年度 事業名	生活排水路等環境美化事業	

総合戦略 体系	446	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	生活環境、公衆衛生、環境美化の向上を図る。				
	概要	町内会が実施した排水路の清掃後の土砂・泥等の回収処分等を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)	
			内容	泥回収等の業務を業者に委託している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
対応率	%	目標値					
		実績値					
計算 根拠	土泥等回収実施件数/土泥等回収要望件数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
計算 根拠	土泥等回収実施件数/土泥等回収要望件数	達成率	100	100	100		
		実数値	126/126	119/119	89/89		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	5,500	5,400	5,700	6,000
決算額	4,389	4,691	4,368	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	11,473	6,000
2							
3							
4							
5以降							
						合計	6,000

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	町内清掃・暗渠清掃から発生した土砂・泥等の回収処分を行う。
前年度の実績	町内清掃後の土砂回収処分(回収量) 84箇所(194t)、暗渠部分の清掃 5箇所(28t) 計89箇所(222t)
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	課題なし
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	「どんぐりからの森づくり」推進事業	事業コード
来年度 事業名		2921

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2011	終了年度	2020
	目的	市民団体の「越の郷地球環境会議」が主体となり、鯖江市内12の全小学校の3年生がどんぐり拾いを行い、4年生でポット苗を作り、6年生での植樹することで森づくりからの環境保全の重要性を認識してもらう「どんぐりからの森づくり」事業を継続し、市民協働による地球温暖化防止のための森づくりを展開していく。					
	概要	潜在自然植生の育成管理、植樹事業として、小学校の苗づくり支援、圃場整備(王山農園・片上圃場(もりもりファーム)をするとともに、一般市民対象の森づくりシンポジウムや小学生による植樹祭などを開催し、森づくりによる地球環境保全の必要性を呼びかける。					
	コロナ対応 の取組	(今年度) 児童・市民植樹会場の地盤整備と、植樹用苗の管理を行う事業だが、従来実施してきた市内全小学6年生による植樹は、実施しないこととなった。(来年度) 市民植樹祭用地盤整備と児童が育てた植樹用苗の管理は、指定管理業務の中に組み入れる予定。この事業自体は廃止。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)			
			内容	児童や市民対象の森づくり活動や植樹祭の企画・運営			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
市広報やホームページによる広報活動	回	目標値				1	0
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加人数	人	目標値				700	0
		実績値					
計算 根拠	R2よりポット苗を作る小学生数含む。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
市広報やホームページによる広報活動	回	目標値	2	2	2		
		実績値	2	2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加人数	人	目標値	700	700	700		
		実績値	1,017	841	666		
計算 根拠	R2よりポット苗を作る小学生数含む。	達成率	143.2	120.1	95.1		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	100

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	800	800	800	200
決算額	800	800	800	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	16,691	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	内容縮小
取組内容	市内小学校児童を対象にした植樹や市民に広く呼びかけた植樹祭を実施する場所がなくなったため、従来のような大人数での植樹はできないが、小学生によるどんぐりからの苗作成は継続する。植樹についてより望ましい箇所がないか等検討が必要である。 (コロナ予算額 800千円 → 200千円)	

来年度の実績	小学6年生・市民等計686名が参加し、2,000本を植樹した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	小学6年生が授業の一環で訪れ、安全に植樹が出来る場所は見当たらない。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	小学生によるどんぐりからの苗作成は継続するが、小学6年生全員が植樹をすることは断念。木々の育成補助等の業務は、令和3年度から環境教育支援センターの指定管理業務に組み入れる。
方向性⇒	廃止・休止

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	グリーンカーテン普及促進・さばECOストップ温暖化チャレンジ事業	事業コード
来年度 事業名		2949

総合戦略 体系	444	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	地球温暖化防止対策の推進
------------	-----	---------------------	---------------	--------------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2011	終了年度	2020
	目的	【グリーンカーテン普及促進事業】 家庭、事業所、学校等における夏場の省エネを推進するとともに、地球温暖化防止意識を高める。 【さばECOストップ温暖化チャレンジ事業】 家族でCO2削減に取り組むチャレンジ事業を通して、市民の自発的な省エネ運動を促進することにより、地球温暖化防止に寄与する。					
	概要	【グリーンカーテン普及促進事業】 グリーンカーテン普及促進事業を「エコプラザさばえ」に委託。各地区公民館等で「グリーンカーテンの効用および設置に関する説明会」を開催し、グリーンカーテンの普及啓発を図る。また説明会参加者やグリーンカーテン実施予定者にはゴーヤの苗を無料にて進呈(個人2本団体10本)し、設置を後押し。各地区ごとのグリーンカーテン普及(実施)率を調査し、公表する。 【さばECOストップ温暖化チャレンジ事業】 さばECOチャレンジファミリーを市民より募集し、各家庭で省エネに取り組んでもらい、昨年比で省エネ率が高い家庭に賞金を渡す。また節電・省エネに関する学習会を各地区公民館等で開催、あわせて若年層にもなじみやすい省エネ実践マニュアルを配布、加えてSNSでも情報発信することで、幅広い年代層が取り組めるよう配慮している。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)グリーンカーテン・温暖化チャレンジ事業 ともに事業中止とした。事業自体廃止する。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)			
			内容	グリーンカーテンコンテスト・広報さばえ・市庁舎グリーンカーテン設置業務については、提案型市民主役事業で実施。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック

活動指標								
	指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
	「市ホームページ」や「広報さばえ」による広報活動回数	回	目標値				0	-
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
	グリーンカーテン取組み者数	人	目標値				0	-
			実績値					
計算 根拠			達成率					
	省エネチャレンジファミリー登録数(累計)	世帯	目標値				0	-
			実績値					
計算 根拠	R1からさばECOストップ温暖化チャレンジ事業の指標を追加のファミリー登録数に変更する	R2から各年度の	達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
	指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
	「市ホームページ」や「広報さばえ」による広報活動回数	回	目標値	2	2	2		
			実績値	2	2	3		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
	グリーンカーテン取組み者数	人	目標値	250	250	250		
			実績値	239	241	705		
計算 根拠			達成率	95.6	96.4	282		
	省エネチャレンジファミリー登録数(累計)	世帯	目標値	1,500	1,500	1,500		
			実績値	2,806	3,244	3,715		
計算 根拠	R1からさばECOストップ温暖化チャレンジ事業の指標を追加のファミリー登録数に変更する	R2から各年度の	達成率	187.1	216.3	247.7		
			実数値					

		ランク	A	A	A
事業 要員	正規職員	ランク B、Cの 理由			
	臨時・嘱託				
	※所要時間		100		

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	594	594	992	1,006
決算額	594	594	992	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	16,691	1,006	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,006

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
①必要性 評価点数の合計	12	/16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
②事務改善 評価点数の合計	10	/20

ACTION

今年度 取組内容	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	「エコプラザさばえ」に、さばECO(鯖江っ子)ストップ温暖化チャレンジ事業・グリーンカーテン普及促進事業を委託し、事業所等および市民を対象に講習会を開催して、取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止の意識を高めていく。 (コロナ予算額 1,006千円 → 0円)
来年度へ向けて 前年度の実績	グリーンカーテン普及調査結果 705世帯実施 省エネチャレンジ世帯(夏) 199世帯 省エネチャレンジ世帯(冬) 202世帯
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 新型コロナの影響でR2年度は実施しないことに決定。事業のマンネリ化がいなめない。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点 グリーンカーテンはそれぞれの家庭で実施しており、もはや事業で普及促進する必要はないと考える。また、さばECOストップ温暖化チャレンジについては、グリーンカーテン実施者とセットで取り組んでいただいていたため、コロナ後に単独で事業実施は困難である。	
方向性⇒ <input type="text" value="廃止・休止"/>	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	日野川砂礫河原再生事業	事業コード 3061
来年度 事業名	日野川砂礫河原再生事業	

総合戦略 体系	434	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	浸水被害総合軽減事業
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2012	終了年度	2020
	目的	日野川河川敷は鯖江百景であり市民にも親しまれる憩いの場であるが、近年、ダムの建設などに伴う洪水の発生頻度の低下により、河原に土砂が堆積し、砂州の樹林化や水生生物の減少など影響が出ている。砂州の切下げ等により、冠水頻度を向上させ自然の営力により砂礫河原を再生し、優れた河川景観を創出する。 中長期的に市民による川の利用促進、砂礫河原再生状況や水辺空間の安全確認の為、川を使った体験型イベントを実施し、川への興味関心を深めることにより河川愛護活動の活発化につなげ、鯖江のまちづくりの魅力向上を図る。					
	概要	親水体験(学ぼう!遊ぼう!河原へGO!):川流れ体験、鮎釣り、水質・水生生物調査、ボート体験					
	コロナ対応 の取組	(今年度)今年度はイベントを中止にした。(来年度)R3年度は感染症対策をし、前年まで同様実施したい。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)			
			内容	親水空間の整備等は工事で発注し、川遊びの普及は市民団体等との協働で行う。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
イベント参加チラシ配布による周知(市内小学校児童)		枚	目標値				0	2800
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
イベント参加者数		人	目標値				0	40
			実績値					
計算 根拠			達成率					
砂礫河原の再生面積		m	目標値					
			実績値					
計算 根拠	水路延長 210m×8m(H24はみお筋造成面積)H25～は表土切り下げ面		達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
イベント参加チラシ配布による周知(市内小学校児童)		枚	目標値	2,800	2,800	2,800		
			実績値	2,800	2,800	2,800		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
イベント参加者数		人	目標値	40	40	40		
			実績値	70	60	57		
計算 根拠			達成率	175	150	142.5		
砂礫河原の再生面積		m	目標値					
			実績値					
計算 根拠	水路延長 210m×8m(H24はみお筋造成面積)H25～は表土切り下げ面		達成率					
			実数値					

			ランク	A	A	A
事業 要員	正規職員	0.08	ランク B、Cの 理由			
	臨時・嘱託					
	※所要時間	50				

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
事業費 予算額	380	400	420	0
決算額	380	400	420	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	202	自然環境保全推進事業費	2,037	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 10 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容 砂礫河原事業の一環として同事業を実施してきたが、主な事業内容は水中生物の観察や水質調査などとなっているほか、実行委員会では日野川上流の川の流れや生き物の調査などについても取り組みを考えていることなどから、環境教育的側面が大きい。令和元年度までは土木課所管、令和2年度からは環境政策課が所管となった。(コロナ予算額 467千円 → 0円)

来年度へ向けて 前年度の実績 参加者数 57名

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 新型コロナの影響でR2年度は実施しないことに決定。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点 事業は今後も継続するが、河川環境保全活動推進事業に統合。

方向性⇒ 統合

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	かわらぶ実施事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	水・人・生きものが共感できる里づくり事業	事業コード 3127
来年度事業名	環境活動団体補助事業	

総合戦略体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
--------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2013	終了年度	2020
	目的	市と地域住民が中心となり許佐羅江清水を地域の宝として将来的にわたり保全し、県域絶滅危惧Ⅰ類指定の希少種であるトミヨをこの清水に呼戻し、自然保護意識の醸成と自然環境保全活動の活性化を図る。					
	概要	地元住民等が中心となってトミヨの飼育管理体制等を整えるための「地域協議会」を設立している。					
	コロナ対応の取組	特になし					
	法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内容	「地域協議会」を開催し、トミヨが生息できる許佐羅江清水の管理を協議する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
許佐羅江清水の水質検査回数	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
湧水の里復活プロジェクトワーキング会議開催回数	回	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
許佐羅江清水の水質検査回数	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
湧水の里復活プロジェクトワーキング会議開催回数	回	目標値	2	2	2	1	1
		実績値	2	2	0		
計算根拠		達成率	100	100	0		
		実数値					

ランク A A C

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、C の理由
プロジェクトワーキング会議を2・3月に予定していたら、新型コロナウイルスの広がりにより、開催できなくなった。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	113	113	75	70
決算額	32	32	0	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	202	自然環境保全推進事業費	2,037	70	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	70

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 10 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 維持
取組内容	湧水の里復活プロジェクトワーキング会議を開催し、地域住民や環境団体と市が連携して一体的に事業を展開し、市と地域住民が中心となり許佐羅江清水を地域の宝として将来的にわたり保全し、県域絶滅危惧Ⅰ類指定の希少種であるトミヨをこの清水に呼戻し、自然保護意識の醸成と自然環境保全活動の活性化を図る。

来年度へ向けて	前年度の実績 湧水の里復活プロジェクトワーキング会議が実施できなかった。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 岐阜協立大学の教授と、越前市のトミヨ管理者の参加が重要。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 1005「環境活動団体補助事業」に統合。
	方向性⇒ 統合

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	小型廃家電リサイクル事業	事業コード 3128
来年度事業名	小型廃家電リサイクル事業	

総合戦略体系	443	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
--------	-----	-----------------	---------------	----------

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づき、小型廃家電を分別収集し、再資源化を適正に行なう事業者へ引渡すことで再資源化を促進する。				
	概要	市役所、市内各公民館、量販店等に専用の回収ボックスを設置し、市民に使用済となったデジタルカメラ、携帯電話、電卓等を持込んでもらう。(現在は燃えないごみとして週1回ステーション回収、クリーンセンターで破碎処理後鉄・アルミのみ回収) 2週1回民間業者が回収し、ストックヤードへ搬入保管する。6月に1回これらを資源化事業者へ、適正処理を行い再資源化する。				
	コロナ対応の取組	特になし				
法令根拠	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	啓発、回収、再資源化処理		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報さばえへの掲載	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
小型廃家電回収量	t	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報さばえへの掲載	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
小型廃家電回収量	t	目標値	3	3	3	4	4
		実績値	3.1	3.7	4.4		
計算根拠		達成率	103.3	123.3	146.7		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	50	50	50	50
決算額	0	0	0	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	20,375	50	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	50

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 事務改善
取組内容	回収効率のよい量販店等に回収ボックスを設置し、ごみの分別ポスターや広報、HPなどで啓発を行いながら、事業を推進する。 利用者の利便性を考え、設置量販店を増やす働きかけも並行して行う。現時点で令和2年度からハーツ神中店に設置いただく了解を得ている。
前年度の実績	広報さばえへの掲載2回 小型廃家電回収量4t
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	今後も継続していく。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	水と自然と歴史文化に出会える郷づくり事業	事業コード 3216
来年度 事業名	水と自然と歴史文化に出会える郷づくり事業	

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	生物多様性の保全に配慮しつつ、地域の特性や環境資源の特徴を生かした自然環境の保全を目指し、各地域住民や団体と市が連携して、活動を展開することで、各地域の環境資源を活かした特色ある環境保護活動の推進を図る。					
	概要	「ふくいおいしい水」に認定された5つの清水の特徴などについて、水質検査を継続すると共に、各清水を守る団体等と連携し、各清水の水質の特徴や地域の歴史・文化資源などを盛り込んだ湧水カラーマップを作成して、湧水をPRする。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)			
			内容	湧水カラーマップ作成および湧水PRについては民間に委託する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
水質分析検査(5箇所)	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
水質基準の順守	%	目標値					
		実績値					
計算 根拠	水質分析検査箇所数×水質基準値内回数/水質分析検査箇所数×検査回数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
水質分析検査(5箇所)	回	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	10	10	10		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
水質基準の順守	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	90	80		
計算 根拠	水質分析検査箇所数×水質基準値内回数/水質分析検査箇所数×検査回数	達成率	100	90	80		
		実数値	10/10	9/10	8/10		

ランク A B B

事業 要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	一部大腸菌が発見された清水があり、大腸菌が出なくなるまで水質調査を行ったため。
-------------------	---

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	614	629	630	630
決算額	486	486	488	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	202	自然環境保全推進事業費	2,037	630	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	630

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

効率性
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
「ふぐいおいしい水」に認定された5つの清水について、市民が安心して飲用できるよう、水質検査を実施し、良好な水質を維持し、地域の特性や環境資源の特徴を生かした自然環境の保全を目指し、各地域住民や団体と市が連携して、活動を展開することで、各地域の環境資源を活かした特色ある環境保護活動の推進を図る。

前年度の実績
5ヶ所の水質分析を年2回実施。また、水質基準が遵守されていない清水の再調査を合計7回実施。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
なし。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
特になし

来年度へ向けて
方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	外来植物防除等自然環境保全活動支援事業	事業コード 3290
来年度事業名	外来植物防除等自然環境保全活動支援事業	

総合戦略体系	441	安心して快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
--------	-----	------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	外来植物の侵入は、在来の生態系や景観を損なうほか、農林水産業への悪影響などの原因になるとされているため、市が、住民団体等が主体となって実施する外来植物の防除・駆除活動や生態系の保護、かつて生息していた動植物の再生・保護活動、希少種の保全活動を支援することにより、地域における在来植物の生態系を保全する。					
	概要	自ら企画・実践する外来植物駆除活動や、生態系の保護、かつて生息していた動植物の再生・保護活動、希少種の保全活動に対して補助することで、地域の自然環境を保全する。					
	コロナ対応の取組	特になし					
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付			
			内容	駆除方法アドバイザー謝礼や駆除活動経費、生息環境保全活動経費を助成する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報および市ホームページによる啓発			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実施団体数		団体	目標値					
			実績値					
計算根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
広報および市ホームページによる啓発			目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実施団体数		団体	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	3	5		
計算根拠			達成率	100	60	100		
			実数値					

ランク	A	C	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	230	180	150	75
決算額	68	43	75	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	202	自然環境保全推進事業費	2,037	75	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	75

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 10 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ある ●ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 ○ある ●ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 ○ある ●ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ○ある ●ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
広報さばえ、市ホームページで啓発し、取組団体に対し1万5千円を上限に活動支援を行なっていく。
(コロナ予算額 150千円 → 75千円)

前年度の実績
実施回数 5回

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
広報でこの事業のPRもしているが、ここ数年同じ町内会からしか申請がない。3町内会から5箇所の申請。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
河川環境保全活動推進事業に含めることができるか、検討する。

来年度 方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	食べきり、水切りごみ減量化事業	事業コード 3291
来年度 事業名	食べきり、水切りごみ減量化事業	

総合戦略 体系	443	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	---------------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	燃えるごみの約4割を占める生ごみの減量化を促進するため、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。				
	概要	生ごみ水切りの啓発を図るとともに、食べ物を残さない「食べきり運動」の推進し、今後のごみ減量化に向けた施策への契機とする。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	生ごみの水切りや「食べきり運動」を推進するため啓発活動を行なう。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
食べきり運動に関する啓発		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
「食べきり運動」における啓発活動回数	回	目標値					
		実績値					
計算 根拠	イベントでのブース設置回数および地域活動回数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
食べきり運動に関する啓発		目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
「食べきり運動」における啓発活動回数	回	目標値	8	8	8	8	8
		実績値	9	9	9		
計算 根拠	イベントでのブース設置回数および地域活動回数	達成率	112.5	112.5	112.5		
		実数値					
		ランク	A	A	A		

事業 要 員	正規職員	0.1	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	0	0	0	0
決算額	0	0	0	0

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1								
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)	
1			
2			
3			
4			
5以降			
		合計	0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	燃えるごみの約4割を占める生ごみの減量化を促進するため、イベント等で啓発活動を行ない、食品ロスを含め生ごみの減量化を図り、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。
前年度の実績	食べきり運動に関する啓発1回 「食べきり運動」における啓発活動回数8回
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	今後も継続していく。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	廃プラスチック類の分別資源化事業	事業コード 3370
来年度 事業名	廃プラスチック類の分別資源化事業	

総合戦略 体系	443	安心して快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	----------------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、資源化に努めているトレーやプラスチック製容器包装類のうち、汚れの付着などにより、再資源化基準を満たせないものや、燃やすごみで排出されているプラスチック類についても、分別回収、資源化することにより、燃やすごみの減量化、資源化の促進に努める。					
	概要	燃やすごみで処理しているプラスチック類等を資源物として分別回収を行い、民間業者に委託して、固形燃料化する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	啓発:市 収集・処理:委託			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
資源物ステーション数	箇所	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
容器包装以外のプラスチック類収集量	t	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
資源物ステーション数	箇所	目標値	290	290	290	290	290
		実績値	293	293	293		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
容器包装以外のプラスチック類収集量	t	目標値	40	40	40	50	50
		実績値	46.4	46.7	37.57		
計算 根拠		達成率	116.0	116.8	93.9		
		実数値					

ランク A A B

事業 要員	正規職員	0.17
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	容器包装以外のプラスチック類が、分別されず燃やせるごみとして出される場合が多いため。
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,073	2,100	1,890	2,404
決算額	1,728	1,816	1,556	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	20,375	2,404	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,404

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 16 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	資源物を回収するステーションにおいて、廃プラスチック類のコンテナを設置し、回収して、固形燃料化する。
前年度の実績	容器包装以外のプラスチック類収集量37.57t
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている現状を広報で周知する。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 広報での周知、出前講座の開催など啓発活動に重点を置く。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value=""/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value=""/>
来年度 事業名	<input type="text" value=""/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value=""/>

今年度 事業名	まち美化実践事業所支援事業	事業コード 3453
来年度 事業名		

総合戦略 体系	446	安心で快適に暮らせるまちの創 造	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	---------------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2017	終了年度	2020
	目的	福井国体に向けて、事業所による道路などの公共空間の美化活動への支援を行なうことにより、市と事業所の協働による美しいまちづくりを展開する。				
	概要	まち美化実践事業所が公共空間の美化活動を行う際に必要な消耗品等購入への支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	現在	市直営	
			内容	1事業所当たり20千円を上限に報償費を支払う		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
まち美化実践事業所新期登録数	件	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
まち美化実践事業所登録数	件	目標値					
		実績値					
計算 根拠	事業所登録数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
まち美化実践事業所新期登録数	件	目標値	10	10	10	5	5
		実績値	11	10	10		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
まち美化実践事業所登録数	件	目標値	50	55	60	65	70
		実績値	53	63	73		
計算 根拠	事業所登録数	達成率	100	114.5	121.7		
		実数値					

ランク	A	B	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,000	500	500	200
決算額	74	0	16	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	16,691	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **8** /16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

効率性
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13** /20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
自主活動を推進し美化活動への取組みやまち美化実践事業所への登録事業の事業費の縮小を検討する。

来年度の実績
前年度の実績
10件の新規事業を登録した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
福井国体に向けて、事業所による道路などの公共空間の美化活動への支援を行ない、官民協働で美しいまちをつくるのが当初の目的であった。国体が終了してから期間も経ち、事業目的が左記のとおりであるから、事業者への働きかけも二の足を踏む。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
事業廃止とする。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

今年 事業名

来年度 事業名

取組可能な事業の詳細⇒